

わ 分かる と 快感!

Z会ナビ

さんすう 算数

りか 理科

れきし 歴史

ちり 地理

お題

なぜ冬に富士山がよく見えるのか?

「Z会ナビ」が

Webサイト

でも読めます!



Z会おとナビ新聞

検索

これまでの内容も掲載しています!



私が仕事をしているZ会は、静岡県の三島市にあり、仕事場からは、30キロはなれた所にある富士山がよく見えます。しかし、仕事を始めてから数年がたち、私はあることに気がきました。冬にはほぼ毎日雄大な姿を見せる富士山が、夏には晴れていてもほとんど見えないのです。これはなぜでしょうか?



イラスト：瑞木匠

とです。裏を返せば、「富士山が見えない」というのは、富士山と自分の間にある何かが、光が通るのを邪魔したということです。この邪魔者の正体は、空気中に浮かんでいて、目には見えないほど小さな、水のつぶやちりなどです。

日本の太平洋側では、夏は太平洋からしめった南風がふいてくるので、空気中にはたくさんの水のつぶがあります。しかし、冬は日本海からふく北風が日本海側に大雪を降らせたあとに太平洋側にやってくるので、空気は乾燥しています。

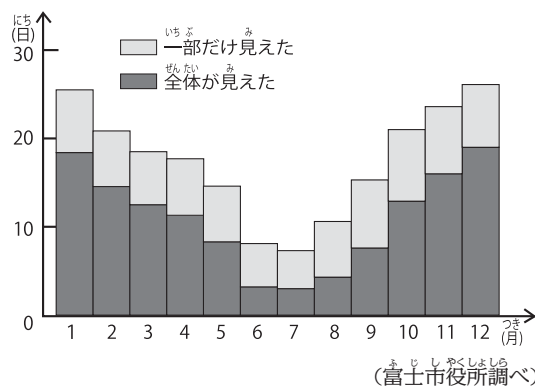
次の表は、東京で、1か月のうち乾燥注意報が出された日数を表しています。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日数	20	17	11	6	2	0	0	0	0	0	6	14

(2010年までの30年間の平均。気象庁調べ)

表からも、冬に空気が乾燥していることがよくわかりますね。冬には、空気中に視界をさまたげる水のつぶが少ないので、富士山がよく見えるのです。【Z会・小澤碧】

本当に富士山は冬によく見えるのか?



同じく静岡県にあり、富士山から22キロはなれた所にある富士市役所では、1991年から毎日(!)富士山を目で見て「全体が見えた」「一部だけ見えた」「全く見えない」のいずれかを記録しています。上のグラフは、2012年までの22年間に富士山が見えた平均日数を、月ごとに表した結果です。

水のつぶが邪魔をする

富士山が、夏にはあまり見えず、冬によく見ることが一目瞭然ですね。たとえば、7月には、富士山の一部でも見えた日が1か月(31日)のうち平均で7日しかないのに対し、12月には26日もあります。しかしなぜ、富士山は冬によく見えるのでしょうか?

視界をさまたげているものは?

「富士山が見えた」というのは、富士山が太陽光をはね返し、この光が目へ届いたというこ

今回の教訓
今が、富士山が最もよく見える季節です!



小澤碧さん 2010年Z会入社。理科の教材編集を担当。理学博士。クラシック音楽と水泳と物理をこよなく愛する。1982年京都市生まれ。